

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2021年11・12月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第623号

「見張りの者よ、今は夜の何どきか

見張りの者よ、夜の何どきかの

イザヤ書二二章一一節

コロナの闇に世界が包まれて二年が過ぎようとしていく。いつになればこの闇は晴れるのだろうか。

紀元前六世紀頃のイスラエルは、隣接するアッシリヤ、エジプト、バビロンという大

国からの脅威にさらされてきた。この苦しみはいつまで続くのか、いつ平和な時代が来るのか、民は皆、暗い絶望の中で苦しんでいた。予言者イザヤは、人々の気持ちを代弁して「見張りの者よ、今は夜の何どきか」と問うている。

しかしこの暗闇は当分終わりにそうにない。それどころか、これからバビロン補囚というさらに厳しい時代がやって来る。その現実を直視しながら、にもかかわらず、予言者イザヤは、暗いどん底で救い主の到来を信じ、ここにこそメシヤはいる。だから座って待てと託宣する。

クリスマス之時

クリスマスは、言うまでもなくイエス・キリストの誕生

をお祝いする日である。一年で一番暗く寒い冬至の日をキリストの誕生日にしたのには、救い主に対するイザヤの信仰理解につながるものを感じる。どん底の暗い闇夜も終わることはないだろう。しかしそのどん底にキリストが光として来てくださる。それをお祝いするのがクリスマス

スである。今は何どきか。さて今は、どのような時だろうか。明るく幸せな時か。それとも暗く寒い夜だろうか。新約聖書のコリント信徒への手紙Ⅱ六章二節において使徒パウロは、「今や、恵みの時、今こそ、救いの日」と言っ

いつまでなのですか



財団理事・関西セミナーハウス活動センター所長代行

榎本 栄次

の状況や他人がどうであれ、神との和解の救いに入れられる時であるから「恵みの時」「救いの日」なのである。

パウロはさらに言う。「闇から光が輝き出でよ」と(同・四章六節) 暗闇がなくなるわけではない。他から光が来るのでもない。その闇の中から光が輝き出るのである。もっとひどい闇が来る。しかしその中にキリストが来た。

キリストの生涯は誕生から十字架の死に至るまで暗闇ばかりである。馬小屋での誕生。エジプトへの避難。泣き叫ぶラマの住民。病人。障害者。五千人の飢えた人々。荒海で悩む小舟、十字架の死である。それ以後も暗闇はなくなっていない。その中にこそ光があった。それが和解である。暗闇から光

今は、キリストを通して神との和解に入れられた時であり、「和解のために奉仕する任務」が与えられた時である。それは暗闇が無くなることではなく、そこから光が輝き出ることである。「神の協力者として」私たちの今が、神の永遠とつながられた。だから「今は恵みのとき、今日は救いの日」となった。

クリスマスは、闇の中から抜け出すことではなく、闇の中から光が出ることである。私たちの小さな働きも、自分個人のものではなく、神との和解を得た者として神の働き(ミッション)の一端を担うのである。それが恵みであり、救いであろう。暗闇の中におられるキリストを拝みたい。

(日本基督教団牧師)

関東活動センター／関西セミナーハウス活動センター

●2021年度 関東フォーラム「宗教対話」／修学院フォーラム「社会」

〈連続講座〉Zoomでアンコール開講!

「日本キリスト教史を読む」Ⅰ(明治篇)

2021年5月〜12月第2木曜(全8回)

共催：早稲田泰仕園

Zoomによるオンライン講座

〈受講者奇稿〉

Zoom講座「日本キリスト教史を読む」Ⅰ(明治編)を受講して

竹中 百合子

この5月から、戒能信生先生の8回にわたる連続講座を受講する貴重な機会が与えられました。これは2017年度に東京で開講された講座のアンコール開講とのことですが、昨年突如発生したパンデミックによって、幸か不幸か全てがZoomでのリモート開講となりました。この点、今



戒能信生講師

回は以前の講座とはかなり趣の異なる講座であったと思えます。

幸いというのは、通信機器を通じて世界中どこに居ても参加出来るからです。かねてより参加を願っていた関西在住の私も早速仲間入りさせていただきました。他にも東京から遠く離れた海外を含む地域から熱心に参加する方々が居られます。

毎回前もって詳細な資料が参加者全員にデータ配信され、興味深く講義に備えます。又、講座は録画されて、後日の受講や確認も可能です。講師やスタッフの方々には新たな配慮や働きが求められたでしょうが、大変スムーズにお進めいただき感謝です。

講師の戒能先生も最初の内

はその形態に馴染めず、「どうも勝手が違って、やりにくい」と言っているのを思い出します。話す相手の顔や表情が見えず、ひたすら画面に向かつて話し続けることは非人間的な行為です。先生は慣れ難い窮屈さを味わって居られたと思います。

90名近い受講者は実は皆熱心に拝聴して居りました。やはり場の雰囲気を読めず、機器操作にも戸惑いました。それでも不思議に講師の人間的な魅力や研究姿勢、受講仲間の雰囲気は伝わるものです。日本キリスト教史上に偉大な足跡を残した明治を代表する先人達の生涯や思想を、戒能先生は親しみを込めて語り、ご教示下さいました。有意義な学びの時も12月で最終です。有難うございました。

「日本キリスト教史を読む」を受講して

大野 朝男

全世界に蔓延して人類すべてに影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症は、私たちが経験したことがないレベルで拡大と縮小を繰り返している。表題講義の受講も5年目を迎

えた今年は感染防止のためZoom受講となった他、私が所属する浦安教会も緊急事態宣言中は在宅礼拝となり、諸集会や諸行事も中止や延期を余儀なくされている。オンラインでの受講も礼拝も、便利な時代と感じながらも、アナログ時代を76年間も過ごしてきた私にはどこか馴染めないところがあって、できれば早く元の形の受講や礼拝に戻ってほしいところだ。しみじみ

言外から感じ取るニュアンスや雰囲気はその場にはないとわからないものだと思った。また以前は、実際に先人が活躍された教会を訪ねてというフィールドワークもあったが、その歴史を肌で感じる事ができる良い企画だった。それにしても、毎回大変よく準備された戒能牧師の講義は素晴らしく、聞く私の頭が

もっと整理されていれば、この国のプロテスタントキリスト教を担った方々の活躍がしっかりと記憶に刻まれたことだろう。残念ながら今はごちやごちや状態だ。

そんな中で昨年9月24日の特別講座「スペイン風邪と日本の教会」はちょうど今から100年前に世界中で流行し、多くの犠牲者を出した感染症と教会がテーマだった。新型コロナウイルスに悩まされている今、実に時宜を得た授業であり、そのレジュメの結びに、◎忘れないこと◎自然環境破壊への危機意識、と書かれたことは、全く同感だ。

浦安教会は3年後に創立50周年を迎え、今その準備が始まったところだが、その中には100年前と今回の感染症のことを記し、その影響と課題を後世に伝えたいと思う。

主のご降誕を

お祝い申し上げます。



関西セミナーハウス活動センター

●2021年度「開発教育セミナー」第2回
「コロナ禍でくらす外国人技能実習生の今」

神戸大学大学院国際
協力研究科准教授

斉藤 善久さん

2021年7月11日(日)

Zoomによるオンライン講座



新型コロナウイルス感染症の先行きが見通せず、開催中止も選択肢に上る状況下、完全にセミナーを実施することを最優先し、初めてのオンライン開催となった。いつも以上に時間を費やし、入念に準備して当日を迎えた。

講師の斉藤善久さんは労働法の研究者で、ベトナムの技能実習生送り出し機関の研修で日本語を教えた経験を持つ。その後、日本で働くようになった教え子から相談を持

ち掛けられることが増え、中には深刻なSOSもあり、支援に関わるようになった。報道では「失踪」・「不法就労」と表現されるが、実際は「けがをしても十分な治療を受けさせてもらえず働かされる」、「嫌がらせの上で退職に追い

込まれ、自己都合退職と処理される」、「職場で同僚への虐待を見て怖くなって逃げ出した」など、本人の責任にはできない事情が介在している。そのような事例が詳細にレポートされ、イメージで捉えていたあいまいな理解が是正された。しかし、このような困難な状況に対して、日本社会では理解が進まず、対策は機能していない。

セミナーは、斉藤さんの問題解決に向かう姿勢に触発され、これからも関心を持ち続け、できることを考えていき

たいと思う機会となった。また、参加者の感想では、オンライン開催でもグループでの話し合いが保障されていたる。

●2021年度 修学院フォーラム「社会」第3回
「シュリンクするまち・リボーンするまち」

株式会社高田建築事務所代表取締役会長 高田 清太郎さん

2021年7月24日(土)

会場：関西セミナーハウスおよびオンライン



少子高齢化問題に加え、コロナ禍の中で、「空き家・空き地問題」が急速に拡大している。風化していく街や建物、マイナス循環が生れつつある。長年培ってきた伝統文化、技術の伝承も資源も失われることになる。まさに「シュリンク(萎縮)する」まちである。

今回は、新潟の建築家、高田氏の取り組んでおられる町

おこしの実践から話を聞き、「シュリンクするまち」から「リボーン(再生)するまち」への転換への手がかりを探った。

新潟県長岡市撰田屋で明治期に栄えていた旧サフラン酒本舗は長い間10歳を抱えたまま衰退し、急朽スピードを留めることができなかった。そこに目をつけた高田建築事務所が発案から長岡市がこれを買い上げ、多方面の有志に呼び掛け知恵と力を出し合って町おこしの拠点として立ち上がった。まさにかつて栄えた町屋がシュリンクするまちになつていったが今、リボーンするまちに変身している。さらにこの運動から長岡市全体の勢いへと広がっている。

高田氏は良い都市をつくる上での4つの原則を立てる。①地区は二つ以上の機能を果たすのが望ましい。住宅だけ、オフィスだけ、工場だけではなく入り組んでいること。②道は狭く折れ曲がっていてブロックが短くモザイク状がいい。③建てられた年代が違う建物が混じり合っているのがいい。④人口密度が十分高い方がいい。

高田氏はまた居場所探しの旅でいろいろな言葉を創造される。「菓舞づくり」「千人鮮食」「0と0で∞」「間知づくり」など。ご自分の作詞された音楽も聞かせてくださった。

今シュリンクしかけている関西セミナーハウスにとっても、大変刺激の多いフォーラムであった。



プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**2021年度 聖書を読む講座 I**

(共催:早稲田奉仕園)

「上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もうーこの時代の中で聖書からメッセージを読み解く」『創世記(原初史)から読み解く現代第3期~神、自然、人間をキーワードに』

講師:上林 順一郎さん(日本キリスト教団引退教師)

日時:5月~11月、第4水曜 14:00~16:00(8月休会)

参加費:全6回6,000円(学生3,000円)

方法:会場(早稲田奉仕園セミナーハウス)およびZoomによるオンライン講座

■**2021年度 聖書を読む講座 II**

(共催:早稲田奉仕園)

「マルコ福音書をジックリと読む」第4期

講師:山口 里子さん(聖書学者)

日時:4月~2022年2月、第2火曜 18:30~20:00

参加費:全10回8,000円(学生4,000円)

方法:Zoomによるオンライン講座

◆**東・西活動センター・早稲田奉仕園共催**

■**2021年度関東フォーラム 宗教対話 I / 修学院フォーラム「社会」 I**

〈連続講座〉アンコール開講
「日本キリスト教史を読む」 I (明治篇)

講師:戒能 信生さん(日本基督教団千代田教会牧師)

日時:5月~12月、第2木曜 14:00~16:00

参加費:全8回6,000円(学生4,000円)

方法:Zoomによるオンライン講座

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2021年度開発教育セミナー**

第6回「誰のための平和か~中東で起きていることを理解する」

講師:末近 浩太さん(立命館大学国際関係学部教授)

日時:12月12日(日) 10:00~16:00

参加費:3,000円

会場:京都市国際交流会館(kokoka)

■**2021年度修学院フォーラム「福祉」**

第2回 出版記念イベント×はなしあい「あっち側の彼女、こっち側の私」(共催:京都YWCA)

日時:2022年1月29日(土)

参加費:1,000円

方法:会場(京都YWCA)およびZoomによるオンライン

関西セミナーハウス

2022 新春「個人様向け宿泊プラン」

~大晦日、元日の2日間限定オープン~

2020年10月から休館中の関西セミナーハウスが2日間限定でオープンします。朝食には彩り華やかな祝い膳をご用意いたします。この機会に是非、一年の始まりを関西セミナーハウスでお迎えください。

ご宿泊日:12月31日(金)・1月1日(土)

料金:1泊おせち朝食付き おひとり様10,000円(別途宿泊税200円)

2泊おせち朝食付き おひとり様19,000円(別途宿泊税400円)

※ 料金は消費税込みです。

下記お知らせをご確認のうえ、電話またはHPからお申し込みください。

【お知らせ】

- ・37.5度以上の発熱や体調不良がある場合は宿泊をご遠慮ください。ご来館の際はマスクをご着用ください。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公的機関の要請があれば、個人情報等を提供する場合があります。
- ・クレジットカード等のキャッシュレス決済は現在ご利用できません。現金または銀行振込にてご精算ください。

◇関西セミナーハウスでは様々な新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいます。詳細はHPをご覧ください。



賛助会費・寄付金報告

2021年9月1日~10月31日

(順不同・敬称略)

◆**関東活動センター**

賛助会費

山村 恵美子 3,000
神谷 伊勢男 5,000
徳久 俊彦 10,000
古賀 博 5,000
神谷 伊勢男 5,000
無名氏 3,000
根津 建 5,000

寄付金

久保田 愛策 5,000
濱田 ひろみ 5,000
足立 素夫・光 3,000
川北 かおり 10,000
田島 慶子 2,000
齊藤 潤 5,000
許 昌範 25,000
江口 忍 7,000

神学生プログラム寄付金

神保 正男 10,000
中井 博雅 10,000
小原 武夫 10,000
横野 朝彦 5,000
東矢 高明 5,000
竹中 百合子 5,000

川北 かおり 10,000
小久保 正 5,000
島田 恒 5,000
根津 建 5,000

クリスマス寄付金

吉田 豊 10,000
江口 忍 3,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

牛尾 宣夫 30,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

手銭 秀夫 5,000
古賀 暢子 15,000
関西青年アシュラム 10,000
丸山 まり子 5,000
徳丸 延子 10,000
高寺 幸子 5,000

寄付金

網野 俊賢 10,000
柳井 一朗 1,000
坪野 えり子 3,000
新庄 佑三 5,000
阿部 志郎 2,000

以上感謝をもってご報告申し上げます。

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本キリスト教アカデミー

代表理事 中村 信博

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117
E-mail:office@academy-kansai.org